

2【四半期財務書類】

(1)【四半期連結財務諸表】

①【四半期連結貸借対照表】

		前連結会計年度 2021年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2021年12月31日 (単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 2022年6月30日 (単位：千米ドル)	当第2四半期 連結会計期間末 2022年6月30日 (単位：百万円)
資産の部					
流動資産					
現金及び預金		3,182	435	2,314	316
売掛金	※1	466	64	372	51
未収入金		18	2	19	3
その他		313	43	219	30
流動資産合計		3,979	544	2,924	400
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物		434	59	406	55
減価償却累計額		△ 264	△ 36	△ 328	△ 45
建物及び構築物（純額）		170	23	77	11
工具、器具及び備品		185	25	181	25
減価償却累計額		△ 113	△ 15	△ 103	△ 14
工具、器具及び備品（純額）		72	10	78	11
有形固定資産合計		242	33	155	21
投資その他の資産					
関係会社株式		407	56	379	52
投資その他の資産合計	※1	407	56	379	52
固定資産合計		649	89	534	73
資産合計		4,627	632	3,458	473

	前連結会計年度 2021年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2021年12月31日 (単位：百万円)	当第2四半期 連結会計期間末 2022年6月30日 (単位：千米ドル)	当第2四半期 連結会計期間末 2022年6月30日 (単位：百万円)
負債の部				
流動負債				
買掛金	75	10	137	19
短期借入金	453	62	460	63
未払法人税	-	-	9	1
未払金	2,809	384	2,675	366
未払費用	532	73	547	75
その他	215	29	119	16
流動負債合計	4,085	558	3,947	539
固定負債				
長期借入金	3,488	477	3,504	479
固定負債合計	3,488	477	3,504	479
負債合計	7,573	1,035	7,451	1,018
純資産の部				
株主資本				
資本金	78	11	78	11
資本剰余金	464,897	63,542	464,897	63,542
利益剰余金	△ 433,095	△ 59,195	△ 434,114	△ 59,335
株主資本合計	31,880	4,357	30,861	4,218
その他の包括利益累計額				
為替換算調整勘定	△ 34,825	△ 4,760	△ 34,854	△ 4,764
その他の包括利益累計額合計	△ 34,825	△ 4,760	△ 34,854	△ 4,764
新株予約権	-	-	-	-
非支配株主持分	-	-	-	-
純資産合計	△ 2,945	△ 403	△ 3,993	△ 546
負債純資産合計	4,627	632	3,458	473

②【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	前第2四半期連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年6月30日 (単位：千米ドル)	前第2四半期連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年6月30日 (単位：百万円)	当第2四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日 (単位：千米ドル)	当第2四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日 (単位：百万円)
売上高	2,287	313	1,044	143
売上原価	1,134	155	680	93
売上総利益	1,152	158	364	50
販売費及び一般管理費				
役員報酬	183	25	200	27
給料及び手当	642	88	214	29
広告宣伝費	152	21	5	1
減価償却費	163	22	103	14
のれん償却額	310	42	-	-
支払手数料	1,371	187	613	84
地代家賃	57	8	31	4
その他	431	59	177	24
販売費及び一般管理費合計	3,310	452	1,342	183
営業損失(△)	△ 2,157	△ 295	△ 979	△ 134
営業外収益				
受取利息及び配当金	0	0	0	0
仮想通貨売却益	80	11	-	-
債務勘定整理益	43	6	-	-
その他	45	6	18	2
営業外収益合計	168	23	18	2
営業外費用				
支払利息	150	20	10	1
為替差損	156	21	25	3
仮想通貨評価損	155	21	-	-
持分法による投資損失	-	-	13	2
貸倒引当金繰入額	373	51	-	-
営業外費用合計	834	114	48	7
経常損失(△)	△ 2,823	△ 386	△ 1,009	△ 138
特別損失				
減損損失	4,093	559	-	-
特別損失合計	4,093	559	-	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 6,916	△ 945	△ 1,009	△ 138
法人税、住民税及び事業税	190	26	9	1
法人税等合計	190	26	9	1
四半期純損失(△)	△ 7,106	△ 971	△ 1,018	△ 139
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	4	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 7,133	△ 975	△ 1,018	△ 139

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	前第2四半期連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年6月30日 (単位：千米ドル)	前第2四半期連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年6月30日 (単位：百万円)	当第2四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日 (単位：千米ドル)	当第2四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日 (単位：百万円)
四半期純損失 (△)	△ 7,106	△ 971	△ 1,018	△ 139
その他の包括利益				
為替換算調整勘定	△ 24	△ 3	△ 14	△ 2
持分法適用会社に対する持分相当額	15	2	△ 15	△ 2
その他の包括利益合計	△ 9	△ 1	△ 29	△ 4
四半期包括利益	△ 7,115	△ 973	△ 1,047	△ 143
(内訳)				
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 7,143	△ 976	△ 1,047	△ 143
非支配株主に係る四半期包括利益	28	4	-	-

③【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	前第2四半期連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年6月30日 (単位：千米ドル)	前第2四半期連結累計期間 自 2021年1月1日 至 2021年6月30日 (単位：百万円)	当第2四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日 (単位：千米ドル)	当第2四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年6月30日 (単位：百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 6,916	△ 945	△ 1,009	△ 138
減価償却費	476	65	112	15
減損損失	4,093	559	-	-
のれん償却額	310	42	-	-
仮想通貨評価損	155	21	-	-
仮想通貨売却益 (△は益)	△ 80	△ 11	-	-
受取利息及び受取配当金	△ 0	△ 0	△ 0	△ 0
支払利息	150	20	10	1
為替差損益 (△は益)	-	-	25	3
持分法による投資損益 (△は益)	-	-	13	2
貸倒引当金の増減額 (△：減少)	373	51	-	-
売上債権の増減額 (△は増加)	109	15	94	13
仕入債務の増減額 (△は減少)	32	4	62	9
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△ 679	△ 93	93	13
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△ 404	△ 55	32	4
小計	△ 2,381	△ 325	△ 567	△ 77
ファイナンス・リース利息の支払額	△ 25	△ 3	△ 10	△ 1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△ 74	△ 10	△ 1	△ 0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,480	△ 339	△ 578	△ 79
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息及び配当金の受取額	0	0	0	0
有形固定資産の取得による支出	△ 26	△ 4	△ 27	△ 4
貸付による支出	△ 373	△ 51	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 399	△ 55	△ 27	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 386	△ 53	△ 154	△ 21
新株発行による収入	9,088	1,242	-	-
短期貸付金の支出	-	-	-	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 1,904	△ 260	-	-
ファイナンス・リース債務の支出	△ 126	△ 17	△ 96	△ 13
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,673	912	△ 250	△ 34
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	5	△ 13	△ 2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,829	523	△ 868	△ 119
現金及び現金同等物の期首残高	2,422	331	3,182	435
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,251	854	2,314	316

## 【注記事項】

## (継続企業の前提に関する事項)

当社グループは、前連結会計年度まで継続して重要な営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、前連結会計年度末には債務超過となっております。また、当第2四半期連結累計期間において引き続き、営業損失979千米ドル(134百万円)、及び親会社株主に帰属する四半期純損失1,018千米ドル(139百万円)を計上しております。また当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローも578千米ドル(79百万円)のマイナスとなっております。

2015年度第3四半期にGINSMS Inc.が当社グループの連結子会社となり同社の売上高を連結し、また、2017年度第3四半期より新華モバイル及び新華モバイル(香港)によるライセンス事業に伴う売上高も連結しておりますが、連結ベースで営業利益を計上するに至る十分な売上を上記事業らにより計上出来ていないことから、当社グループは当第2四半期連結累計期間においても継続して営業損失を計上しております。また、当社グループのキャッシュ・フローは非常に厳しいため、引き続き既存の借入金を返済するための資金が不足しております。これらの状況により継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、引き続き既存事業の拡大に注力しつつ、新規事業への投資を予定しております。具体的には、投資物件が安定した賃貸収入を生み出し、不動産価値に潜在的なキャピタルゲインを提供できることを考慮の上、投資目的で不動産を取得する予定です。また、当社グループの成長、経営安定化及び企業価値増大を目指し、収益力、将来性を具備する企業・事業の取得等戦略的投資活動を今後も積極的に推進していく予定であり、当該投資事業を通して、新しい収益源を獲得できるよう努めて参ります。加えて債務超過を解消するため、当社グループは、2022年2月14日公表の適時開示文書「債務超過解消に向けた取り組みについて」にて記載の取り組みを実施して参ります。

上記のような各方策により当社グループの事業の成長と拡大を図ることを企図しておりますが、上記のとおり当社グループのキャッシュ・フローは厳しいため、継続的に経費削減を実施し、当社の既存事業及び新規事業とのシナジーが期待できる潜在業務提携先の発掘も実施して参ります。

ただし、当社グループの事業の継続可能性は、今後の資金調達の状況、事業のリストラクチャリング及び事業の成長に強く依存していることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当社は以前から当該会計基準に合致した会計処理を行ってまいりましたため、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(表示方法の変更)

会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号2020年3月31日)を当連結会計年度の年度末に係る連結財務諸表から適用しております。

ただし、当該注記においては、当該会計基準第11項ただし書きに定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る内容については記載しておりません。

(追加情報)

(四半期財務諸表の円換算)

「円」で表示されている金額は、四半期財務諸表等規則第88条の規定に準じて、2022年6月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行における対顧客電信売買相場の仲値、1米ドル=136.68円で換算された金額であります。なお、当該円換算額は、単に表示上の便宜を目的としており、米ドルで表示された金額が上記の相場で実際に円に換算されることを意味するものではありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額	※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額
-	-
(-)	(-)
投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額	投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額
1,256	883
(172)	(121)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定	現金及び預金勘定
6,251	2,314
(854)	(316)
現金及び現金同等物	現金及び現金同等物
6,251	2,314
(854)	(316)

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

株主資本の著しい変動

第2四半期連結累計期間において、C0社株式の追加取得によりその支払対価及び取得した非支配持分の帳簿価額の差額1,532千米ドル(209百万円)を資本剰余金に計上したことによる部分的な相殺はありますが、新株予約権等の行使により普通株式を12,823,443株発行したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ16千米ドル(2百万円)、7,637千米ドル(1,044百万円)増加しました。

第2四半期連結会計期間末において、資本金は78千米ドル(11百万円)、資本剰余金は464,897千米ドル(63,542百万円)となっております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ライセンシ ング事業	メディア 事業	メッセー ジ ング事業	その 他の 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	59 (8)	1,269 (173)	959 (131)	- (-)	2,287 (313)	- (-)	2,287 (313)
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	146 (20)	- (-)	- (-)	- (-)	146 (20)	△146 (△20)	- (-)
合計	205 (28)	1,269 (173)	959 (131)	- (-)	2,433 (333)	△146 (△20)	2,287 (313)
セグメント利益又は損失 (△)	△4,920 (△672)	167 (23)	100 (14)	△2,480 (△339)	△7,133 (△975)	- (-)	△7,133 (△975)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に関わる重要な減損損失)

ライセンシング事業セグメントにおいて、無形固定資産(ソフトウェア)について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、第2四半期連結累計期間においては4,093千米ドル(559百万円)であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ライセンシ ング事業	メディア 事業	メッセー ジ ング事業	その 他の 事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	- (-)	- (-)	1,044 (143)	- (-)	1,044 (143)	- (-)	1,044 (143)
その他の収益	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
外部顧客への売上高	- (-)	- (-)	1,044 (143)	- (-)	1,044 (143)	- (-)	1,044 (143)
セグメント間の内部売 上高又は振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	- (-)	- (-)	1,044 (143)	- (-)	1,044 (143)	- (-)	1,044 (143)
セグメント利益又は損失 (△)	△4 (△1)	- (-)	39 (5)	△1,054 (△144)	△1,018 (△139)	- (-)	△1,018 (△139)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間において、当社が保有するCO社(「メディア事業」)の全株式を譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：米ドル、括弧内は円)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
1株当たり四半期純損失(△)	△0.13 (△17.77)	△0.02 (△2.73)

(算定上の基礎)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
親会社に帰属する四半期純損失(△)	△7,133 (△975)	△1,018 (△139)
普通株主に帰属しない金額	- (-)	- (-)
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△7,133 (△975)	△1,018 (△139)
普通株式及び優先株式の期中平均株式 数(株)	53,593,787.18	60,560,057.79
普通株式	53,593,687.18	60,559,957.79
優先株式	100.00	100.00
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり四半期純利益の算定に 含めなかった潜在株式で、前連結会計 年度末から重要な変動があったものの 概要	-	-

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。